

手作り絵本で子どもたちを笑顔にしたい

コロナ禍の影響で、毎年学校の授業などで行っていた、地域の園児の皆さんとの触れ合いや交流がなくなっています。今できる取り組みとして子どもたちのための絵本を作った皆さんを紹介します。 ※写真撮影のため、マスクを外していただいています。

彦根中学校

3年生の皆さんが授業の中で幼児との関わり方を学習し、自分で考えたオリジナルの絵本を制作して、地域の子どもたちにプレゼントしました！

みんなに喜んでもらえるように、気持ちを込めて、自分なりに、精一杯の力を出して作りました！



3年・村西 隼颯 さん

数あそびの本

たくさんの子どもたちに読んでもらうために、楽しく勉強できる内容が良いと思って、「水が入ったコップ→1杯」「車→1台」などの「数あそび」の本を作りました。子どもが興味を持ちやすいようにイラストを大きく描いて、文字はカラーペンなどで書きました。

絵本づくりでは、ひらがなを使って読みやすくしたり、見た瞬間に「読みたいな」と思ってもらえるように、表紙を工夫したりしました。色紙シールや色えんぴつなどを使ってカラフルにもしました。



ふたば保育園

▼昨年12月下旬、地域の保育園の皆さんに、代表生徒がサンタクロース姿で絵本を届けにいきました。



高宮幼稚園

聖泉大学

看護学部の2年生の皆さんが「小児看護学」の講義・演習の一環として、子どもの発達段階に合わせた工夫いっぱいの絵本を自作しました。

乳児期：0～1歳向け
囁んで触って聞いて

汚しても洗えるように、布で作りました。赤ちゃんはすぐ口に入れたり噛んだりすることが多いので、端っこにシリコン製の歯がためを付けました。ページをめくると音がするように、鈴も付けています。自分の顔が映ったらおもしろいと思って、小さい丸い鏡も縫い付けました。

幼児期前期：1～3歳向け
手の洗い方を知ろう

大人の真似をしたり、きれい・汚いに分かる時期なので、親子一緒に手洗いの練習ができたらいいなと思って作りました。楽しく練習できるように、絵本の中では「ぎゅっぎゅっ」「ジャージャー」などの擬音語をよく使っています。あと、安全のためにページ(厚紙)の角を丸く切りました。

幼児期後期：4～6歳向け
ぬいぐるみ視点の話

文字が読めるようになってくるので、ストーリー性のある内容にしました。男の子の帰りを待つぬいぐるみのお話。最後に男の子が近寄ってきてくれて、うれしくなるぬいぐるみの気持ちを描きました。今後、できれば実習などで読み聞かせをしたいですし、子どもたちの反応も楽しみです。

親が手作りで絵本を作ってくれたら、子どもはうれしいと思います。一生懸命作ったら伝わるはず！

子どもがどんなことに興味・関心があるのか、よく見て、気持ちを込めるのが大切！

2年・寺川 慧 さん

2年・松井 正 さん

乳児期は音が出るものを使うのがポイント！良い反応をしてくれると思います。

2年・笠井 智穂 さん

【省略記号】 ①日時 ②場所 ③対象 ④定員 ⑤費用 (記載なし：無料)
⑥その他 ⑦託児 ⑧申込 ⑨応募 ⑩問い合わせ先

PICK UP!

新設しました

新型コロナウイルスワクチン接種対策室

新型コロナウイルスワクチンの接種を推進するため、1月25日付けで福祉保健部健康推進課の課内室として新設しました。

☎ 新型コロナウイルスワクチン接種対策室
☎ 24-0816

行政デジタル推進課

ポストコロナ時代にふさわしい行政サービスを提供することを目的として、行政のデジタル化を積極的に推進するための事務を行うため、1月1日付けで市長直轄組織に新設しました。

☎ 行政デジタル推進課 ☎ 30-6153

新型コロナウイルス感染症に関する「彦根市民人権宣言」を行いました

☎ 人権政策課
☎ 30-6115
☎ 24-8577

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染者患者や濃厚接触者などが、差別や誹謗中傷を受ける事例が報道されていることを受け、市全体で「彦根市民として、コロナ差別はしない！」という決意を表明するため、彦根市人権教育推進協議会と市が共同で宣言を行いました。



わたくしたち彦根市民は、次に掲げる5つの事項を実施し、新型コロナウイルス感染症に関する人権侵害を許さず、あらゆる人の人権を大切にすることを、ここに宣言します。

わたくしたちは、

あ 相手を思いやる気持ちを持ちます！【明日は我が身】
感染者やその家族など感染症にかかわる人への非難・中傷、忌避・排除することはしません。「もし自分が感染したら…」と想像し、相手の立場に立って考えます。そして、「自分がされて嫌だと思うことはしない」等の行動につなげます。

り 理解する意識を身に付けます！【臨機応変】
様々な理由でマスクやアルコール消毒などの感染対策ができない人たちがおられます。大多数の基準で「なぜみんなと同じようにしないのか」と決めつけず、「何か事情があるのでは」と考える意識を持ち、困っている人がいたら助けます。

が 頑張っている人に感謝し、応援します！【感恩報謝】
医療や介護、保育などの現場で社会を支えている人たちははじめ、自分の周りの職場や家族などを含め、私たちのために日々一生懸命取り組んでいる人に感謝し、その人たちを応援します。

と ともに助け合います！【To help each other!】
このようなときだからこそ、地域・家庭・職場で、人と人とのつながりを大切にします。お互いに理解し協力し合い、みんなで乗り越えていきます。

う 噂に惑わされない心を育てます！【鶏呑みにしない】
インターネットや噂などで飛び交う情報を、真偽も確かめずに、そのまま周囲へ伝えません。正しい情報・知識に基づき、適切な行動ができる心を育てます。

※人権宣言は彦根市ホームページに掲載しています。

宣言に賛同する人を募集します

【応募方法】

- 宣言の用紙と一緒に撮影した写真を、Instagram (#彦根市民人権宣言) で投稿する
 - ②メールで市へ送付する (彦根市のInstagramで投稿します)
- 詳しくは、彦根市ホームページをご覧ください。

